

サンホセ(SJ)・アグアスカリエンテス(AC)小学部第5学年合同遠隔授業 社会科学習指導案(略案)

「これからの食料生産とわたしたち」

授業者 T1 宮本豪 (SJ) T2 阿部邦弘 (AC)

<第5時>

目標：我が国の食料生産に関わる課題について、解決方法を話し合い、提案をすることができる。

ICT：目的に合わせて Zoom やロイロノートなどの機能を生かし、効率的に意見交流をする (☆)

対話：自分と相手の意見を比較したり、関連付けたりして、新たな発想をする (◎)

学習活動及び内容	指導上の留意事項
<p>1 前時の学習内容を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 農家が減っているという問題を解決するためにはどうしたらいいだろう。 </div> <p>3 課題の解決方法について話し合う。</p> <p>(1) 仮提案を発表 『食べる通信』を配る</p> <p>(2) 「Six hat 思考法」を用いて、提案をより良いものにする</p> <p>[白]提案に対する情報 [赤]直観的に提案をどう思うか [黄]提案のメリット [黒]提案のデメリット [緑]新たな発想・工夫 [青]まとめ</p> <p>4 本時のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 農家が減っているという課題を解決するために、・・・を提案する。 </div> <p>5 本時の授業の自己評価を行う。</p> <p>Google form で振り返りを入力する。</p> <p>6 次時の学習に見通しをもつ。</p>	<p>○バーチャルインタビューで分かった食料生産に関する課題について想起させる。</p> <p>○あらかじめ教員が仮の提案を用意し、その提案について多角的に考察することで、新たな提案を創っていけるようにする。</p> <p>◎「Six hat 思考法」は、色のテーマに合わせて話し合いを進めていく水平思考の方法である。教員のバーチャル背景に色のついた帽子の画像を提示し、F T (ファシリテーター) を一人指名して進行させる。F Tにはファシリテーションカード (進行の仕方カード) を配布する。</p> <p>☆各色の話題では、ロイロノートのテキストカードに意見を記述させ、教師に送るように指示する。教師用のロイロノートに送られてきたカードを付箋のように貼っていき、それぞれの意見について説明させるようにする。</p> <p>○話し合ったことをもとに、自分の言葉で具体的に提案をまとめるように指示する。</p> <p>○考えた提案はJ Aに送りことを伝え、次回でこれまでの振り返りを行うことを確認する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 食料生産に関する課題に対して、具体的な解決方法を考え、表現することができる。 </div>